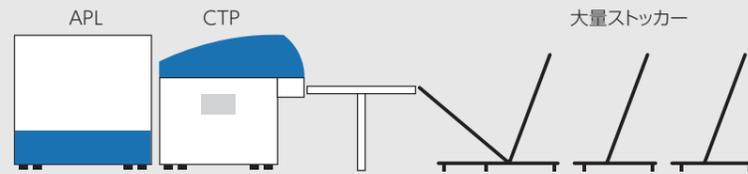


お客様の運用に合わせた自動化ライン構築例

まず必要最小限の構成でスタートし、後から順次拡張するなど、状況に応じた柔軟なシステム構築が可能です。

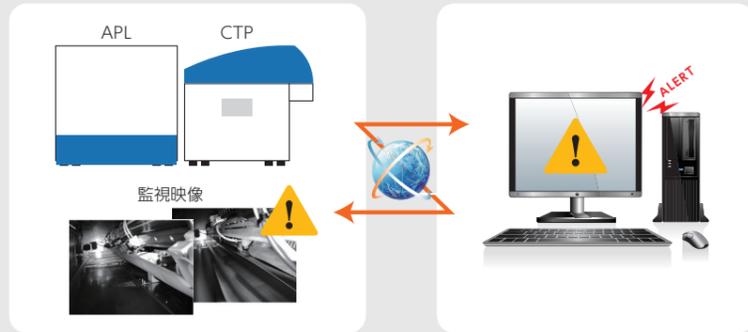
① パレットローディングシステム+大量ストッカー

刷版のパレット品を使用することで、版の積み替えの作業負荷・時間を削減するとともに、取り扱い時のキズ・折れを防止。また、大量ストッカーとの併用により、版の搬送・取り扱いが容易になり、運用性が向上します。



② 状態監視システム

CTPセッターおよびパレットローディングシステムに状態監視システムを追加することにより、トラブル発生時の録画面像・ログ情報の自動入手、リモートサポートが可能になります。



Prepress Factory Automation システムラインアップ

■ 完全無処理CTPプレート SUPERIA ZX

CTPを完全無処理化することにより、自動現像機やガム洗浄機などが不要になるため、これら処理機器に関わる品質管理やメンテナンスも一切不要となり、有処理システムに比べ大幅な工数削減が実現します。



■ 全自動CTPパレットローディングシステム KRAUSE POWER LOADER

専用のパレットを使用し、1,200枚の刷版を約5分で装填可能。従来のオートローダーのような「カセットへの装填作業」が不要で、開梱から装填まで一人で作業できるため、刷版工程の効率化・省人化が実現します。また、プレート装填時のキズ・汚れ発生のリスクも低減できます。



■ 刷版自動振り分け装置

印刷機別、サイズ別など、ニーズに応じて刷版を複数のストッカーに自動で振り分けることにより、作業負荷低減、ミスの防止が図れます。折り曲げ加工後の刷版も、キズをつけることなく自動振り分けが可能です。



■社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

FUJIFILM

●本製品についてのお問い合わせは

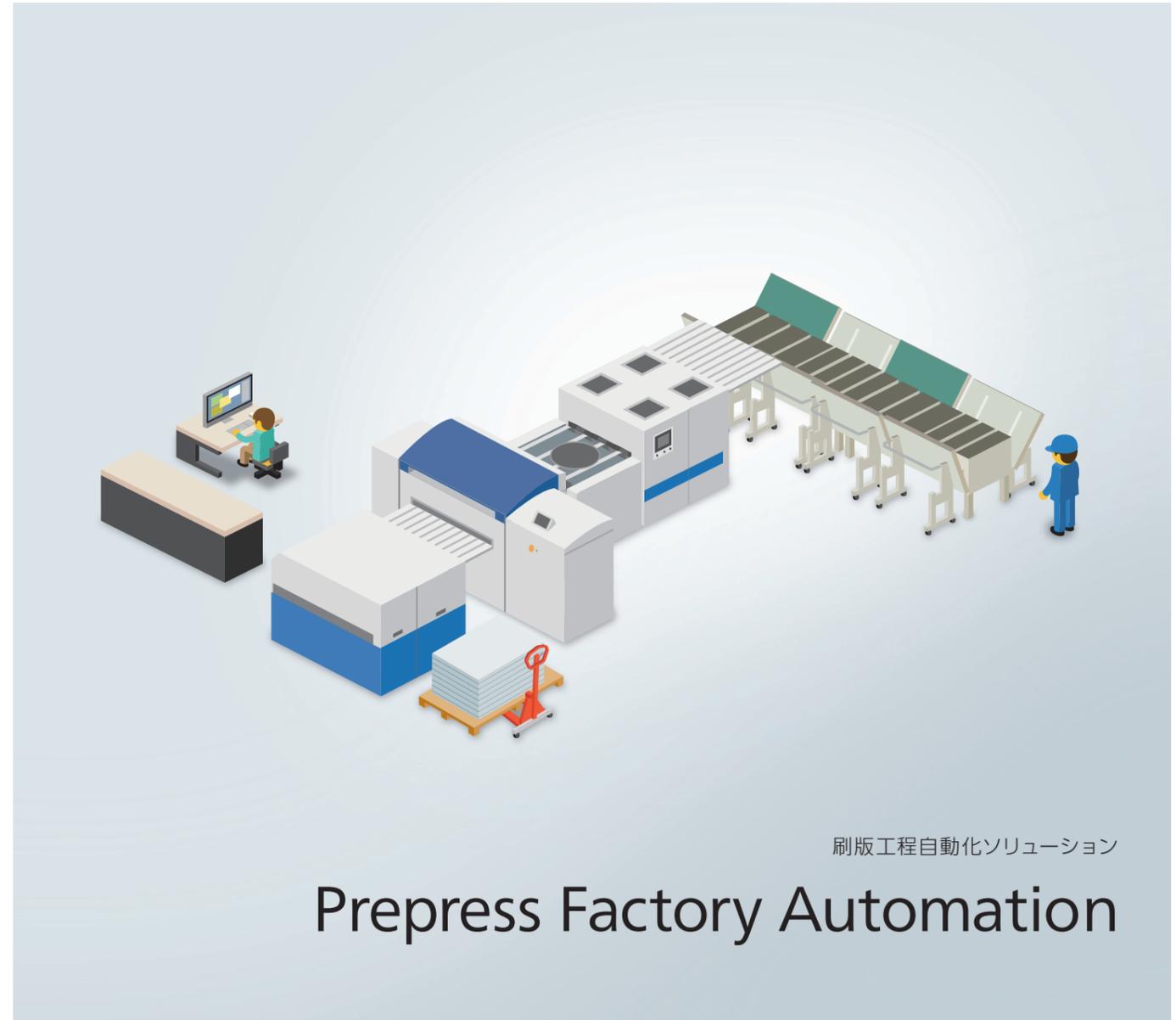
富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル

TEL: 03(6419)0300

ホームページ <https://www.fujifilm.com/ffgs/ja>

FUJIFILM
Value from Innovation



刷版工程をもっとスマートに。 自在なシステム構成で生産効率を一段と高めるCTP自動化ソリューション。

刷版工程は、CTPの導入によりデジタル化が進んでいますが、版の出力前後には、オートローダーへの刷版装填作業、出力後の版曲げや仕分けなど、人手を要する作業が多く残っています。いま求められる小ロット・短納期対応、そして働き方改革や人材確保のためには、こうした作業のさらなる効率化が必要になってきました。『Prepress Factory Automation』は、このような刷版工程の課題を解決するためのソリューションです。お客さま1社ごとの課題に合わせて最適なシステム構成をご提案し、刷版工程の自動化・省人化をサポートします。

オートメーション化の 3大メリット



Prepress Factory Automation ワークフローシステム、版材なども含め、お客さまに最適な自動化フローをご提案します。



XMF連携運用

XMFに標準搭載のバーコード作成機能により、XMFが管理する情報を、各装置の自動化に必要なQRコードやDataMatrixコードなどとして刷版上に付加することが可能です。

MIS-XMF連携運用

MISの受注・生産情報とXMFがCSVデータを介して連携することにより、MISが管理する情報を間違いなくXMFに渡し、各装置の自動化に必要なQRコードやDataMatrixコードなどとして刷版上に付加することが可能です。MISからのJDF/JMFコマンドにより、CTP出力指示やCTP出力実績のフィードバックなど、より高度な自動化が実現します。

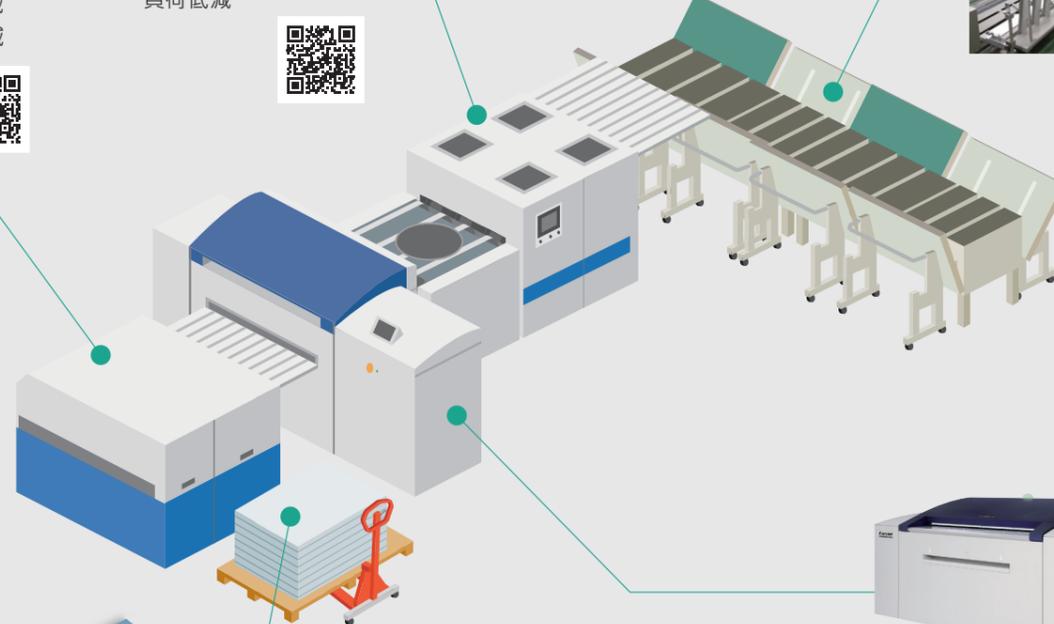
②パレットローディングシステム

- 最大積載枚数1,200枚
- 刷版の装填回数削減
- 装填作業の負荷低減



④自動ベンダー

- ベンド(版曲げ)作業の負荷低減



⑤刷版自動振り分け装置

- 印刷機ごと・版サイズごとの
ストックへの仕分け



①完全無処理CTPプレート

- 高耐刷・UV対応の完全無処理CTPプレート
- アルカリ現像・ガム処理工程の削減
- 自動現像機メンテナンスの削減



③CTPセッター

- 最高70版/時の安定した高速出力



株式会社若草印刷(群馬県) お客さま採用事例



代表取締役社長
田村 英三氏



制作部データベース課 課長
堀口 亮氏



- MIS-XMF連携フロー、刷版自動振り分け装置を導入
- 刷版部門の作業負荷・仕分けミスを削減
- 組織の合理化、オペレーターの残業時間削減にも寄与

若草印刷では、MISのジョブ情報を使った自動処理のフローを確立したことで、刷版部門の大幅な作業負荷軽減を図っています。従来、刷版オペレーターが行っていた版面へのアクセサリ付加はXMF上で自動処理。刷版部門での出力前の付帯作業が一切不要になりました。



また、同社では輸転機・枚葉機合わせて5台の印刷機を持っており、出力された版を印刷機ごとに振り分ける必要がありますが、これを刷版自動振り分け装置により自動化。24時間稼働で版の出力枚数も多いため、大きな省人化効果が得られています。さらに、この効果を活かし、刷版部門と出力部門を統合。従来、両部門合わせて8名体制でしたが、現在はわずか4名で対応可能に。しかも1人あたりの作業負荷が減り、残業時間の削減も図れ、働き方改革にもつながっています。

[詳しくはこちら](#)

